

実現化方策について

2023年2月2日

安芸高田市 企画部 政策企画課

1. 実現化方策とは

- 前回までの委員会で検討してきた、都市計画マスタープランの各種方針の実効性を高めるため、計画を推進する上での方策や手順、留意事項等について、「実現化方策」として整理します。
- 実現化方策では、全体構想で設定した4つの基本目標に対応する重点プロジェクトを設定し、計画期間（10年間）での取組内容について検討します。
- また、計画を推進するための実施体制や、計画そのものの見直しの方針についても検討します。

■まちづくりの基本理念

未来へ 続くまち 安芸高田

■基本目標

居住や施設が集約された持続可能なまちづくり

居住や都市機能の集約、施設の適正配置により、持続可能な都市の構築を図る。

だれもが安心して暮らせるリスクに強いまちづくり

災害リスクの低い安全な地域への居住誘導を図るとともにインフラの整備等を行い、ハード・ソフトの双方から安全・安心な居住環境の確保を図る。

地域資源を活かした活力あるまちづくり

地域ならではの産業の活性化や、地域コミュニティの強化により、活力の創出を図る。

目的地へアクセスしやすいやさしいまちづくり

誰もが都市機能等の目的地へアクセスしやすい環境の整備を図る。

持続可能なまちづくりに
向けた重点プロジェクト

リスクに強いまちづくりに
向けた重点プロジェクト

活力あるまちづくりに
向けた重点プロジェクト

やさしいまちづくりに
向けた重点プロジェクト

2. 重点プロジェクト

- 重点プロジェクトについては、4つの基本目標を実現するための施策として、計画期間（10年間）での取組内容について以下の通り設定します。
- 特に都市計画区域内では、立地適正化計画の誘導施策や防災指針で定めた取組を中心に推進するほか、地域公共交通計画（現在策定中）や公共施設等総合管理計画（2022年9月改訂）など、関係する各分野の計画・施策とも連携しながら取組を進めていきます。

対応する基本目標	実施する取組		実施期間	所管部署
持続可能なまちづくりに向けた重点プロジェクト	空き地や空き店舗の活用支援	中心拠点・地域拠点の利便性向上や既存ストックの活用、地域活性化等に向け、商業・事業用の空き地や空き店舗の活用を支援します。 具体的には、市内の空き地・空き店舗の状況に関する情報発信や、商工会等が行うチャレンジショップの運営に対する支援等を行います。	長期（10年程度）	商工観光課
	公共施設の再編	公共施設等総合管理計画に基づき、市内公共施設の総延床面積を2034年度までに30%以上削減することを目標とし、公共施設の中心拠点・地域拠点等への集約を図ることで、必要な公共サービスを将来にわたって提供できる実現可能な環境構築を図ります。	長期（10年程度）	財産管理課

2. 重点プロジェクト

- 重点プロジェクトについては、4つの基本目標を実現するための施策として、計画期間（10年間）での取組内容について以下の通り設定します。
- 特に都市計画区域内では、立地適正化計画の誘導施策や防災指針で定めた取組を中心に推進するほか、地域公共交通計画（現在策定中）や公共施設等総合管理計画（2022年9月改訂）など、関係する各分野の計画・施策とも連携しながら取組を進めていきます。

対応する基本目標	実施する取組	実施期間	所管部署
リスクに強いまちづくりに向けた重点プロジェクト	災害リスクの低いエリアへの居住誘導 国の防災集団移転促進事業や、県のがけ地近接等危険住宅移転事業等を活用し、自然災害が発生した地域や災害リスクの高い区域において、住居移転を行う際の支援を行うなど、災害リスクの低い環境への居住誘導を図ります。	長期（10年程度）	管理課
	地域防災リーダーの養成 災害が発生した場合に迅速かつ適切に対処できる、自主的な防災対応能力の向上を図るため、立地適正化計画の防災指針でも具体的な取組に定めた安芸高田市地域防災リーダーの養成を、全市的にも推進します。	短期（2～3年程度）	危機管理課
	空き家情報バンク 災害リスクの低いエリアへの居住誘導や移住支援の観点から、空き家情報バンクを活用した優良物件の周知を行います。	長期（10年程度）	管理課

2. 重点プロジェクト

- 重点プロジェクトについては、4つの基本目標を実現するための施策として、計画期間（10年間）での取組内容について以下の通り設定します。
- 特に都市計画区域内では、立地適正化計画の誘導施策や防災指針で定めた取組を中心に推進するほか、地域公共交通計画（現在策定中）や公共施設等総合管理計画（2022年9月改訂）など、関係する各分野の計画・施策とも連携しながら取組を進めていきます。

対応する基本目標	実施する取組		実施期間	所管部署
活力あるまちづくりに向けた重点プロジェクト	地域振興組織の活動支援	地域コミュニティの活性化に向け、特に住民主体のまちづくりに向けた取組方針や計画を策定している地域振興組織に対して活動支援を行います。	長期（10年程度）	政策企画課
	定住・移住促進	未来の安芸高田市の担い手となる居住者の確保を図るため、市外からの定住・移住者の確保に向けたPR活動を推進します。 また、移住希望者が地域で暮らしていくための雇用の場の確保のため、企業誘致やリモートワーク環境の整備についても推進します。	長期（10年程度）	政策企画課

2. 重点プロジェクト

- 重点プロジェクトについては、4つの基本目標を実現するための施策として、計画期間（10年間）での取組内容について以下の通り設定します。
- 特に都市計画区域内では、立地適正化計画の誘導施策や防災指針で定めた取組を中心に推進するほか、地域公共交通計画（現在策定中）や公共施設等総合管理計画（2022年9月改訂）など、関係する各分野の計画・施策とも連携しながら取組を進めていきます。

対応する基本目標	実施する取組		実施期間	所管部署
やさしいまちづくりに向けた重点プロジェクト	公共交通網の再編	現在策定中の安芸高田市地域公共交通計画（仮称）の内容に基づき、持続可能な公共交通網への再編について検討します。	短期（2～3年程度）	政策企画課
	東広島高田道路の整備促進	東広島高田道路（向原～吉田間）について、本市の拠点間連携軸を担う重要な道路網として、広島県に対し早期整備を促進していきます。	短期（2～3年程度）	建設課
	歩道空間の整備	中心拠点・地域拠点を中心に、住民等が安全に歩いて暮らせるまちなみを実現するため、歩車混在道路における歩道空間の整備を推進します。	長期（10年程度）	建設課
	JR芸備線の利用促進	沿線自治体である広島市・三次市等と連携し、JR芸備線の利用促進に向けた取組を推進します。	長期（10年程度）	政策企画課
	交通結節点の整備	中心拠点・地域拠点における交通結節点について、行政・商業・医療等の施設へのアクセス環境向上に向けた環境整備を推進します。 特に、吉田町におけるバスセンター（吉田出張所）については、現在中心市街地から離れた場所に位置しているため、市役所周辺への移設による都市機能の集約・利便性の向上を図ります。	中期（5年程度）	政策企画課

3. 計画推進体制

- 人口減少社会が今後も続く見込みである中、本計画で定めた都市計画の方向性を実現するためには、行政だけでなく、市民や事業者との連携が不可欠です。
- 本計画の推進にあたっては、住民・事業者・行政がそれぞれの役割や責任を分担し、「未来へ 続くまち 安芸高田」を実現するための取組をともに進める体制を構築します。



- **市民の役割**

地域コミュニティの一員として、地域課題の解決や魅力向上に向けて、まちづくりへの理解増進やまちづくりへの積極的な参画が求められます。

- **事業者の役割**

地域社会を構成する主体として、事業活動を通じた魅力的なまちづくりや地域活性化への貢献が求められます。

- **行政の役割**

市民や事業者がまちづくりに参加するための基盤整備や各種情報提供、必要な施策の展開等を促進していきます。

4. 計画の見直し

- 本計画は、目標年次を20年後（2043年）、計画期間を10年間（2023年～2033年）としており、長期的な視点に基づく都市計画の方針について記載するものです。
- 一方、社会情勢の変化や、本計画の上位計画である「広島圏域都市計画区域マスタープラン」の改定等があれば、本計画で定める都市計画の方針についても見直しが必要となります。
- そのため、本計画の一部である「安芸高田市立地適正化計画」とあわせて、おおむね5年後ごとのPDCAサイクルによる評価を行うとともに、必要に応じて見直しを実施していきます。

